

乃木神社は、乃木將軍として今でも親しまれる乃木希典命ご夫妻を祀ります。神社の北東には別邸があり、將軍ご夫妻は数度の休職期間を別邸に滞在し、「農は國の大本なり」と仰せられ自ら田畑を耕され勧農の範を示され、地元石林の住民とも親しく交流、晴耕雨読の日々を過ごされました。



乃木 希典 将軍



明治四十五年七月三十日明治天皇が崩御され、そのご大葬が行われた九月十三日夜、ご夫婦は殉死を以て明治天皇のご聖恩に報いられました青山葬儀場で行われた將軍ご夫妻の葬儀当日、ご遺徳を偲ぶ地元の住民は別邸において遙拝式を行いました。その場で後に乃木神社初代宮司となる大田原神社の手塚元氣宮司は、將軍の神靈を土徳の神として祀る神社の創立を提議し、参列者の絶大な賛同を得て神社創立が決定しました。



大正三年八月二十八日 神社創立の議を提出  
大正四年六月十六日 内務大臣より許可「社格ハ県社ト心得ヘシ」  
大正五年三月六日本殿、拝殿が竣工  
大正五年四月十二日 御神靈が本邸より列車で御動座、夜八時に御鎮座  
大正五年四月十三日 御鎮座奉祝大祭斎行  
平成二十八年四月十三日 御鎮座百年大祭斎行  
乃木神社の創立にあたっては地元のみならず県内外から多くの淨財が寄せられました。以来ご命日にあたる九月十三日を例祭日として祭礼を執り、崇敬者をはじめ世界の平和安寧をお祈り申し上げています。

## 文武両道 士夫婦和合徳勸農

御祭神 乃木希典命  
配祀 乃木静子命

乃木神社



乃木將軍御夫妻勸農の地



▲静子林

ひとまことにあらわす  
一往末見え  
おちのむけほの  
耶柳ゆゑ



明治二十五年  
將軍自らの設計で母屋設計  
昭和四十一年  
板木県史跡に指定される  
平成二年十月二十八日  
過激派の放火により焼失  
平成五年三月  
復元竣工  
平成三十年  
「日本遺産」認定

明治二十五年  
御手洗川と呼ばれる清流は塩原の躉沼といふところから蛇尾川の水をとり入れた用水ですが、この所までつくうちにもたくさんの湧水をとり込んでいます。石巻地区の工事費負担の約半分を將軍が支出されています。



御手洗川と呼ばれる清流は塩原の躉沼といふところから蛇尾川の水をとり入れた用水ですが、この所までつくうちにもたくさんの湧水をとり込んでいます。石巻地区の工事費負担の約半分を將軍が支出されています。



那須乃  
神社

石碑  
さくらの杜

乃木別邸

乃木清水

神田

静沼

本殿

幣殿

八雲神社

拝殿

祖靈社

宝物館

祈禱控室

授与所

神馬舎

社務所



# 乃木神社

〒322-9117  
栃木県那須塩原市石林七九五

JR 東北新幹線・那須塩原駅(タクシー15分)  
JR 宇都宮線・西那須野駅(タクシー5分・徒歩20分)  
自動車・東北自動車道(西那須野塩原インターチェンジ下車10分)  
TEL ○一八七(三六)一一九四  
FAX ○一八七(三七)四九二八

## ■交通のご案内

- JR 東北新幹線・那須塩原駅(タクシー15分)
- JR 宇都宮線・西那須野駅(タクシー5分・徒歩20分)
- 自動車・東北自動車道(西那須野塩原インターチェンジ下車10分)

